錦秋のひととき、クラシック香る豊中

Toyonaka Machinaka Classic

2013

豊中まちなかクラシック

日本センチュリー交響楽団とともに

■11月 9 日(土)伝統芸能館、カトリック豊中教会、日本キリスト教団豊中教会
■11月 10 日(日)本家 土手嘉、大阪大学会館、センチュリー・オーケストラハウス
■11月 13 日(水)アクア文化ホール
■11月 16 日(土)日本福音ルーテル豊中教会、桜の庄兵衛ギャラリー・土間、東光院 萩の寺

主催：豊中市　共催：日本センチュリー交響楽団

問合せ　豊中市都市活力創造室　電話０６－６８５８－２８６３

公演 6

日本センチュリー交響楽団

チャペルに織りなす妙(たえ)なる調べ

11月16日(土)／11：30～12：30 ／日本福音ルーテル豊中教会(定員60人)

演奏 松浦奈々(アシスタント・コンサートミストレス/ヴァイオリン)
永松祐子(ヴィオラ)
末永真理(チェロ)

曲目 J.S.バッハ：ゴールドベルク変奏曲

松浦 奈々・永松 祐子・末永 真理

演奏者から

今回、この教会で演奏いたしますのは J.S. バッハ作曲、ゴールドベルク変奏曲。ある説によりますと、バッハを高く評価していた伯爵から、眠れないので、静かに眠れる曲を作って欲しいとの依頼があったとか。この曲は、アリアに始まり、30あまりのバリエーションが続き、またアリアに戻るという構成。つまり、初めに演奏した曲(アリア)が、最後にもう一度姿を現すのです。私達音楽家にとって、バッハを教会で演奏させていただく機会は、敬虔な祈りの場でもあり、きっと、お客様と奏者が共通の憶(おも)いに至れるのではないかと思いました。歳を重ねるにつけ、バリエーションは個々の人生模様のように、そして、最後に再現されるアリアの残照のような響きは、冒頭でのアリアとはまた違うものに感じられることと思います。(永松/ヴィオラ)

昭和44年(1969年)にこの地に移築された礼拝堂は、素朴な外観ながら、菱型の窓枠、矩形で構成された正面上部の明かり窓など、控えめなデザインが醸す表情が繊細。隣接するのは、ヴォーリズ最晩年の牧師館(昭和32年(1957年)築)。

日本福音ルーテル豊中教会
住所：中桜塚4－10－27

公演 7

日本センチュリー交響楽団

チェロで奏でるバッハの神髄 Vol.2

11月16日(土)／13：30～14：30 ／桜の庄兵衛ギャラリー・土間(定員40人)

演奏 北口大輔(首席チェロ奏者)

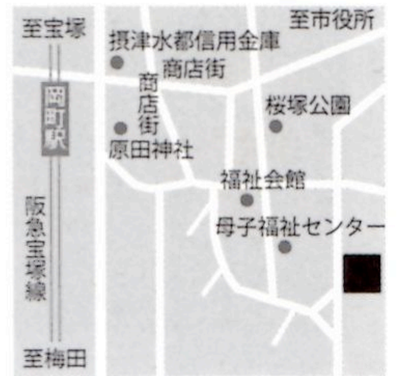
曲目 J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲第1番　ほか

北口 大輔

演奏者から

バッハは無伴奏チェロのために6つの組曲を作曲しました。そのいずれもが至高の作品で、チェリストのみならず全ての音楽家のバイブルとなっています。昨年に引き続き、桜の庄兵衛ギャラリーの静謐な空間に響くバッハをお楽しみ下さい。(北口/チェロ)

近世庄屋屋敷の堂々たる構えをとどめる国登録有形文化財。主屋は江戸時代の伝統的農家建築。現在は美術作品展やコンサートなどの会場としても活用されています。ほの暗さが懐かしく、響きの心地よい土間での演奏です。



桜の庄兵衛ギャラリー・土間
住所：中桜塚2－30－35

日本センチュリー交響楽団

古刹(こさつ)に立ちのぼる弦楽のハーモニー

公演 8

11月16日(土)／15：30～16：30 ／東光院 萩の寺(定員65人)

演奏 本吉優子(ヴァイオリン)
小川和代(ヴァイオリン)
清水豊美(ヴィオラ)
望月稔子(チェロ)

曲目 ハイドン：弦楽四重奏曲第78番「日の出」
ドヴォルザーク：弦楽四重奏曲第12番「アメリカ」　ほか

小川 和代・望月 稔子・清水 豊美・本吉 優子

演奏者から

日本センチュリー交響楽団の本拠地は、大阪府豊中市にあります。この豊中市に、現在地に移転する以前の時代も含めて優に1200年以上の歴史を持ち、萩で有名な、また国重要文化財が安置されている東光院 萩の寺があります。風情を誇るこの萩の寺で、音楽の原点・ハイドンやドヴォルザークの弦楽四重奏曲をお楽しみ下さい。萩の寺の深みと優しさが、素敵な音楽を包んでくれるはずです。これぞまさしく日本文化と西洋文化のコラボレーションです。
(小川/ヴァイオリン)

萩の名所として名高いことはもとより、正岡子規をはじめ多くの俳人が訪れ、数多くの句碑や奉納句を今に伝えます。アンサンブルの典雅な響きは、名木で造作されたこの寺の本堂ならではの醍醐味です。

東光院 萩の寺
住所：南桜塚1－12－7

Toyonaka Machinaka Classic

ご案内

- 全公演とも無料でご参加いただけます(公演⑤の保育には利用料が必要です。)
- 公演Bのみセンチュリー・ユースオーケストラによる演奏です。
- 演奏者、曲目、時間等は変更になることがあります。
- 各公演の開場は、開演時刻の30分前です。ただし、公演③と⑤は1時間前。
- お車・自転車等でのご来場はお控えください。
- 会場によっては、肌寒いことがあります。

Toyonaka Machinaka Classic

2013

日本センチュリー交響楽団が奏でる魅惑のハーモニー

豊中まちなかクラシック GUIDANCE

教会、寺院、オーケストラハウスや歴史的建造物を会場に、まちなかで楽しむクラシックコンサート。音楽に彩られるこのまちで、あらたな豊中の魅力を見つけてください。

お申込みについて

■往復はがきでお申込みください。10 月 18 日(金)必着。応募多数の場合は抽選。

公演①～⑧について

・往復はがき 1 通につき、2 公演まで、人数は 2 人まで申し込めます。(就学前児童はご遠慮ください。)
(※公演⑤は保育あり(満 1 歳から小学 3 年生まで。1 人 200 円)。要申込み 10 月 18 日(金)締切。抽選あり。)

公演Ａ－１・Ａ－２(子ども音楽会)について

・上記公演①～⑧とは別の往復はがきでお申し込みください。
・子どものためのコンサートです(公演 A－1・A－2 は同じ内容です)。
・往復はがき 1 通につき、A－1 か A－2 のいずれか 1 公演のみ、人数は保護者を含め 4 人まで申し込めます。

公演 B について

・申込み不要。当日会場で先着順

■往復はがきの記載事項

※公演①～⑧と、公演 A-1・A-2 は、それぞれ別の往復ハガキでお申込みください。

往　信　・希望の公演番号(※公演①～⑧は 2 公演まで、公演 A－1・A－2 はいずれか 1 公演のみ)
・参加人数(※公演①～⑧は 2 人まで。公演 A－1・A－2 は保護者を含めて 4 人まで)
・代表者と同伴者全員の名前・年齢
・代表者の住所・電話番号
・公演⑤の保育希望の場合は、子どもの名前と年齢

返　信　・返信宛先面に、代表者の郵便番号・住所・名前
・返信裏面には、「参加票」等を印刷しますので、何も書かないでください。

■申込み先

〒561-8501 (住所不要) 豊中市　都市活力創造室「豊中まちなかクラシック」係

■定員に満たない公演のみ、10 月 28 日(月)から電話で受け付けます。

(電話：０６－６８５８－２８６３)

Profile プロフィール

日本センチュリー交響楽団

～あなたの夢、音にのせて～

日本センチュリー交響楽団(旧大阪センチュリー交響楽団)は、1989 年に活動を開始し、初代常任指揮者ウリエル・セガル(現名誉指揮者)の指揮により第 1 回定期演奏会を行った。2011 年 4 月に名称を日本センチュリー交響楽団に変更し、小泉和裕音楽監督、沼尻竜典首席客演指揮者のもと新たなスタートを切った。

大阪での定期演奏会をはじめ、近年ではさまざまな地域でも特別演奏会を行っている。また、青少年のためのオーケストラ体感コンサートの開催や、センチュリー・ユースオーケストラの運営など教育プログラムにも力を入れている。

演奏を通して多くの人びとの心に明るい夢が広がることを願い、新しい時代のオーケストラとして発展を目指している。

センチュリー・ユースオーケストラ

優れた作品を楽しみながら音楽に関する知識を深めるとともに、オーケストラという集団の中で協調して演奏会を成功させる手法を学ぶことにより、よき社会人への一助となることを活動の目的とし、財団法人大阪府文化振興財団(現公益財団法人日本センチュリー交響楽団)と公益財団法人関西テレビ青少年育成事業団の共催事業として 2007 年 6 月に設立。定期演奏会や星空ファミリーコンサートでの日本センチュリー交響楽団との合同演奏、アンサンブル演奏のほか、団員の親睦を深めるための野外交流活動を行う。

指揮者小田野宏之氏と日本センチュリー交響楽団楽団員を指導者に据え、オーケストラを創るための活動に積極的に取り組んでいる。現在、オーディションを通過した中学 1 年生から 29 歳までの約 100 名が在籍。

飯森範親(指揮)

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリンとミュンヘンで研鑽を積み、94 年から東京交響楽団の専属指揮者、モスクワ放送交響楽団特別客演指揮者、大阪・オペラハウス管弦楽団常任指揮者、広島交響楽団正指揮者などを歴任。96 年、東京交響楽団のヨーロッパツアーでは「今後、イイモリの名が世界で注目されるであろう」と絶賛された。03 年、NHK 交響楽団定期演奏会にマーラーの交響曲第 1 番でデビューを飾る。06 年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞、06 年度中島健蔵音楽賞を受賞。

海外ではフランクフルト放響、ケルン放響、チェコフィル、プラハ響などに客演を重ねる。01 年よりドイツ・ヴュルテンベルク・フィルの音楽総監督に就任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音。日本ツアーも成功に導いた。

現在、東京交響楽団正指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、ヴュルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者。07 年から山形交響楽団の音楽監督に就任、次々と新機軸を打ち出してオーケストラの活動発展と水準の向上に目覚しい成果を挙げたことで、2010 年のビジネス・イノベーション・アワード大賞、2011 年齋藤茂吉文化賞を受賞。近年は音楽家としての活動のみならず、こうしたアートマネジメント分野でもその才能を発揮、日本経営士会名誉会員として活躍の場を広げている。2014 年シーズンから日本センチュリー交響楽団首席指揮者に就任予定。

オフィシャル・ホームページ　www.iimori-norichika.com

北口大輔(チェロ)

東京芸術大学音楽学部、同大学院修士課程修了。在学中より数多くのコンクールに優勝、入賞し、アゼリア推薦音楽新人賞、大阪府舞台芸術新人賞などの音楽賞を受賞。NHK-FM「ベストオブクラシック」「名曲リサイタル」「現代の音楽」に出演。

東京都交響楽団チェロ奏者、九州交響楽団首席チェロ奏者を歴任し、2011 年より招かれて日本センチュリー交響楽団首席チェロ奏者に就任。また 2013 年までは九州交響楽団首席客演チェロ奏者も同時に勤めた。

ソリストとしてオーケストラとの協演も多く、ドヴォルザーク、ハイドン、チャイコフスキー、サンサーンス、グルダ等の協奏曲を数度に渡り演奏した。特に近年は無伴奏チェロでの定期的なリサイタルに取り組み、幅広いレパートリーを獲得している。その演奏に対しては各誌からも高い評価を得ており、「全く危なげないソリストぶり、余裕の力演」「新鮮にして風格のある演奏」(音楽の友誌)、「実力派、頼もしい存在感を披露」(モーストリー・クラシック誌)、「彼が入る事によりチェロセクションの音が格段に引き締まる」(朝日新聞)など、その力量を賞賛されている。

現在、日本センチュリー交響楽団首席チェロ奏者。また大阪音楽大学非常勤講師として後進の指導にもあたっている。